

WAVE

市民活動

豊橋・生と死を
考える会

田中 史佳

(582)

「豊橋・生と死を
考える会」では年に
二回『がんを語り合
う会』を開催してい
ます。

今回の第八回は、

順天堂大学医学部教
授の樋野興夫先生に
講演をお願いしまし
た。

先生自身、南原繁
や新渡戸稲造らの著
書に出会い、影響を
受け、それらの中か
ら、ことばの処方せ

んとして患者さんや
家族に届けている。
大切なことは「今
どうあるべきかす
ま」このことが定ま

だそうです。

また、二〇〇八年

「がん哲学外来」

「がん哲学外来メデ
イカルカフェ」を創

集い、対話の場と
なっているよう
です。

急速に進む超高齢
化社会の中で二人に

がん哲学外来講演会

ればおのずと「どう
するかすま」が決
まる。相談される方
の心の奥底まで届
き、尊厳に触れる言
葉を心がけているの

始され、現在全国で
約八十カ所が開設さ
れています。それぞ
れの地域でがん患者
さんや家族・医療
者、一般市民などが

一人ががんになる時
代、私たち市民は地
域の中で何が出来る
だろうか。「豊橋・
生と死を考える会」
の今後の課題も含

め、皆さんと共に考
えるきっかけとなる
集いにしたいと思っ
ています。



講師：樋野興夫（ひの
おきお）先生

場所：ほいつぶ
講堂
参加協力券：50
0円

日時：12月23日
(祝)午後1時30分
より

問い合わせ：08
0-51106-15
64 (田中)へ。